



季刊

防災ニュース

2012.3
第19号

宮前区役所危機管理担当/宮前区まちづくり協議会防災部会

みんなのまちだから、みんなで守ろう! 宮前区防災フェア

防災グッズ
プレゼント!
先着:600名
(1家族1袋限り)



「きょうを守る」上映
陸前高田市出身の大学生が
被災した家族や友人などにカメラを向けた話題作



イザ!カエルキャラバン!
楽しみながら防災が学べる
「防災プログラム」



防災プログラムに参加すると
かえっこバザールで使える
(かえるポイント)がもらえるよ!



おもちゃの交換会
「かえっこバザール」

ほかにも家族で楽しめる
企画が盛りだくさん!

宮前平中学校
吹奏楽部による演奏
ぼうさい出前講座
非常食の試食(100食限定)
防災用品の展示&実演

協力:
宮前区自主防災組織連絡協議会
宮前消防署
宮前平中学校
総務局危機管理室
(財)川崎市水道サービス公社
まちづくり局開発監査課
大塚製菓(株)
(株)オガサワラ
(株)サトーホーム
東京ガスライフパル川崎北
船山(株)
(株)ライトボーイ
NPO法人プラス・アーツ



3月9日(土)
10:30~15:00
宮前市民館・市民広場
主催:宮前区役所・宮前区まちづくり協議会
お問合せ:044-856-3114



避難所での宿泊を体験!



宮前区総合防災訓練 フォトレポート

〔避難スペースの区割り訓練〕

2012年11月17・18日に、宮前区役所が主催した「平成24年度宮前区総合防災訓練」が実施されました。宮前区役所と宮前平小学校を主な会場として、花の台町内会の方を中心に、区内の自主防災組織関係者も多数参加しました。あいにくの雨天ではありましたが、約250名が熱心に訓練に取り組みました。今回の訓練は、区の本部会議の立ち上げ、避難経路の確認、各種防災体験などから避難所に実際に宿泊しての訓練もあり、いままでにない本格的なものとなりました。防災ニュース19号では、訓練の様子の写真を中心にお伝えします。

1. 初動対応訓練

大規模地震が発生したことを想定し、区役所職員による災害対応訓練をロールプレイング形式で行いました。ロールプレイング形

式は、訓練を行うプレーヤーと、訓練に必要な情報を与えるコントローラーに分かれて行います。



〔区本部会議〕



〔区本部事務局〕



〔初動対応訓練の反省会〕

2. 避難所訓練

避難所として指定されている宮前平小学校を会場に、地域住民を対象として、避難や

避難所開設に関する知識の普及、また、各種防災体験を行いました。



〔煙体験〕



〔車いす介助訓練〕



〔起震車体験〕



〔消火訓練〕



〔心肺蘇生法・AED使用訓練〕



〔避難についての検討会〕

3. 宿泊訓練

宮前平小学校の体育館を使用し、約40名が実際に宿泊訓練に参加しました。宿泊訓練

では、避難所生活の体験や避難所運営についての研修等を行いました。



〔炊き出し訓練〕



〔災害用トイレ組立訓練〕



〔発電機・投光器使用訓練〕

4. アンケートより

宿泊訓練に参加された方のアンケートから一部抜粋してご紹介します。

実際に体育館の床の上で寝てみて、大変さ、体の痛さを感じた。

物音やいびきでほとんど眠れなかったが、雨や風をよけ、動物や犯罪に怯えず、夜を過ごせることに感謝しました。

実際の災害時に、自分の役割をどこまで果たせるかを考える機会になった。

参加人数が多くなれば、よりリアルな訓練となると思う。

この他にもたくさんのご意見をいただきました。

実際に体験することで、避難所生活の大変さ、避難所機能の重要性を学んでいただきました。防災ニュース第16号でも避難所について取り上げましたが、避難所はどうしても家で生活できなくなった場合に避難する場所です。避難所生活は過酷なものになりますので、共助の精神が重要になります。また、普段から防災訓練に参加することの

大切さを改めて認識していただくこともできました。訓練をしておかなければ、災害時の対応がスムーズにできませんし、訓練で、何が足りないか、何をしなければならないかなど、気づくことができます。町内会・自治会など、地域単位でも防災訓練は行われていますので、できるだけ積極的に参加するよう心がけましょう。